

(1)

会報

No. 13

1987.7.30発行

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)771-0069

可決されました。
次に、六十二年度事業計画(案)、
六十二年度一般会計及び特別会計予
算(案)を提案、可決されました。
最後に会長より、個人及び施設
(図書館)が日団協に加盟して欲しい。
また、京都府社会教育委員会議の図
書館専門委員会議の内容が良いもの
になるよう、市町村立図書館の意
見や要望を出して欲しい、と特にお
願いされました。

が始められました。
まず、事務局より六十一年度会務報告、六十一年度一般会計及び特別会計報告、専門委員会報告を、監事より会計監査報告をそれぞれ協議した結果、提案どおり承認されました。
次いで、京都ライトハウス点字図書館の加盟に伴う分担金規定の改正案(「分担金規定別表」)に「その他四千円」の項を追加し、京都ライトハウス点字図書館に適用すること)が、

六月三日、今年度の定期総会が、
亀岡市立図書館において、二十六館
の出席と九館の委任状提出によつて
開催されました。

定期総会の後、表彰規程に基づく
今年度の図書館等職員の表彰が行わ
れ、その功績が称えられました。

会長挨拶（要旨）

月三十日に教育長に提出されました。

今後の専門委員会議では、府立図書館構想の具体的検討、図書館ネットワークの具体的構想、市町村図書館の振興策等が検討され、今秋の予算編成時までに具体的な提言をまとめる予定と事務局から伺つております。

今後も理事・事務局の方々の協力を得ながら、この会の発展のために努力してまいりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

第一回理事會報生口

第一回理事会報告

規程の改正(案)、六十二年度事業計画(案)・一般会計及び特別会計予算(案)、六十二年度定期総会について、六十二年度表彰職員についてそれぞれ協議の結果、一部修正のうえ定期総会に諮られることになりました。

わ協議の結果、一部修正の上承認其
総会に諮られることになりました。
今年度は定期総会のあとに研究発
表会を加えた「京岡連大会」の形式
で行うことになりました。

京都市洛西図書館

昭和四十七年京都市で初めての大規模住宅地「洛西ニユータウン」づくりが計画され、約二六〇ヘクタールの竹材を伐採、「緑豊かなまち」に、さる四月二十日西京区で二館目、京

都市内十一番目の地域図書館がオープンしました。

この図書館は、五四六平方メートル、洛西総合庁舎に併設され、館内はカラフルで明るく、また、地域住民の方々に親しみをもつていただけた

メートル、洛西総合庁舎に併設され、館内はカラフルで明るく、また、地域住民の方々に親しみをもつていただけたほか、京都にふさわしい資料を展示する京都コーナー!を設置するなど閲覧しやすく工夫しています。

蔵書は、児童書・絵本、教養・趣味・娯楽・実用書、紙芝居など、児童からお年寄りまでがご利用になれるよう整備を進める計画です。

図書館では、貸出しのはか、行事として、大型紙芝居、読み聞かせ、映画会などを実施します。開館記念行事は五月七日と六月四日の両日、大型紙芝居やパネルシアターなどをを行い、大変好評でした。



京都ライトハウス点字図書館 社会福祉法人

初めまして、今年度から皆さんの仲間に入れて頂きました、協議会の新一年生です。

所在地は、京都市北区の、市バス「千本北大路」のすぐ近くです。

創立は、一九六一年のことですが、建設準備の時から今日に至るまで、多くの府・市民の方々からお力添えを頂いています。

サービス対象は、身体障害者手帳の交付を受けた視力障害者です。

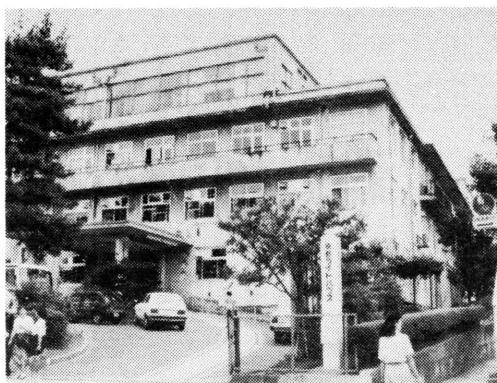
サービス内容は、点字・テープ図書・雑誌の閲覧・貸出し、読者の個

今後、皆さん方に信頼され、親しまれる図書館づくりに職員一同努力して参ります。お気軽に立寄り下さい。

ところで、点字図書館には、「資料の点字・音声化」、それに協力して頂く「ボランティアの養成」という特徴的な業務もあります。

ここで、本年三月末の統計を一、二紹介しますと、蔵書数は、点字が六、五六八タイトル、二二、九五三冊、テープは三、六三四タイトル、一八、〇一八卷、対面朗読六六一回、一、四六四時間(86年度)、個人点訳六、〇四一頁、個人録音二、八五五時間。

又、公共図書館、公民館の御理解を得て、「ステーション貸出し」も行っています。



当館は、金閣寺や大徳寺にも近いので、皆さんも一度観光かたがた、御来館下さい。お待ちしています。

▼館長の異動▲

城陽市立図書館 新 森田 恒孝 旧 幾山 哲夫

久御山町立図書館 新 田口 清 旧 奥田 茂一

加茂町立図書館 新 旭 正英 旧 高橋 祥二

大江町立大江図書館 新 城下萬吉 旧 西本 芳男

亀岡市立図書館 新 佐々木 泉 旧 川勝 正宏

京都市中央図書館 新 安田 孝夫 旧 大谷 博

京都市醍醐図書館 新 山田 正三 旧 福富 昇

京都市右京図書館 新 田中 重夫 旧 章行

京都市東山図書館 新 宮原 章行 旧 章行

京都市伏見中央図書館開設準備室 新 津村 俊勝 旧 章行

京都市立洛西図書館 新 奈佐 博司 旧 章行

京都市立郷土資料館 新 中山又男 旧 西村 隆雄

長岡京市教育委員会図書館準備室 新 目釜 尚民 旧 章行

八木町立郷土資料館 新 中山又男 旧 章行

にゅうす・ニュース・News

新築の資料館で発足

八木町立郷土資料館図書室



八木町は、京都府の中央に位置する人口一万人余りの緑につまれた小さな町です。

本町では、昭和五十三年より公民館図書室で図書サービスを行つてきましたが、本年三月二十七日、新築となつた八木町立郷土資料館の一階に移し、資料館図書室としてオーブンしました。

蔵書数は約一万八千冊、オーブンしてわずかですが、公民館のときより毎月の貸出冊数も二倍に増えました。また、室内も窓も広くとり、住民のみなさんからも以前より雰囲

気が明るくなつたと好評です。

一方、図書サービス以外に子供映画会や人形劇を実施したり、毎月の「図書室お知らせ版」で新着図書や行事等をP.R.し、新しい利用者も増えました。

二階は、資料館として古文書や写真、絵画の展示をしたり、郷土資料や行政関係資料、辞典等の参考図書を設置、三階は創作活動室等として利用していただいております。

まだまだ不十分な点もありますが、今後とも、より一層図書を充実させ、住民のみなさんの生涯教育の拠点として利用され、親しまれるよう努力していきたいと考えています。

キャブテンシステムを設置

精華町立図書館

今年の一月より精華町立図書館にキャブテンが設置されました。これは、田辺・精華・木津がテレトピア構想のモデル都市指定をうけ、その一環として導入されたものです。各

町では図書館に置かれています。特に小・中学生の利用が多く、土・日曜日などキャブテンの休んでいる間がありません。占いや音楽、映画、出版情報等に関心が高く、キャブテンを知つて久しぶりに姿を見せる子もいます。また最初は少し後込みし

「手づくり教室」ひらく

福知山市立図書館

福知山市立図書館では、こども読書週間の行事の一環として、五月十九日「手づくり教室」が開かれ、参加した小学生らは、「動くおもちゃ」作りを楽しみました。

この教室は、昨年の折り紙教室につづいて二回目で、今回はゴム動力で走る紙製のレーシングカー作りに

ていた大人の人達も「情報が多く便利でおもしろい」とレジャー情報などコピーされています。又、図書館では出版情報などもわかり、図書選択の参考にもなり便利です。

新館建設を目指して

舞鶴市立東図書館

当図書館では、永年の願望であつた新館建設を計画中です。

市民の要望にも応え、新しい図書館機能を基盤として、広く親しまれ利用しやすい公立図書館をめざして、昭和六十三年度に着工し、六十四年度に新装開館の予定です。

▼役員等の異動▲

理 事 新 佐々木 泉

(亀岡市立図書館長)

監 事 旧 川勝 正宏

(亀岡市立図書館長)

顧 問 新 旭 正英

(加茂町立図書館長)

顧 問 新 佐々木 泉

(京都市中央図書館長)

顧 問 旧 西本 芳男

(加茂町立図書館長)

顧 問 新 行待 史朗

(京都府立総合資料館長)

顧 問 旧 西村 隆雄

(京都府立総合資料館長)

顧 問 新 大谷 昇

(京都市中央図書館長)

▼加盟館の異動▲

* 京都市洛西図書館、京都市伏見中央図書館開設準備室及び京都ライトハウス点字図書館がそれぞれ新たに

加盟しました。

* 長岡京市中央公民館に変わって長岡京市図書館準備室が、八木町中央公民館に変わって八木町郷土資料館図書室がそれぞれ加盟しました。

挑戦。材料は、部品を印刷したボル紙、竹ひご、輪ゴムなど。車軸部は、ストローを使用。指導に当たった職員らに手伝ってもらひながら、レーシングカーを完成させました。

専門委員会ニュース

相互協力委員会

「資料の相互貸借実施要領」による相互貸借の問題点をさぐり、さらに相互貸借の輪を広げるため61年度末に実施しました「相互貸借実態調査」では、京図連加盟館のすべてから回答が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

集計の結果、61年度の相互貸借の概要は次のとおりでした。市町図書館および公民館（府立図書館を除く）の間で行われた相互貸借は合計191冊、府立図書館と市町図書館および公民館とでは1,444冊（内18冊は府立図書館の借受）でした。合わせて1,635冊が府内の図書館・公民館の間で貸借されたことになります。

また、府内の図書館と他府県の公共図書館との相互貸借は、貸出が23冊、借受が202冊で計225冊、国立国会図書館からの借受が43冊でした。

なお、相互貸借制度に未加入の6館の内3館から、加入を検討中の回答がありました。

現在、事務局で調査項目細部の集計作業が進行中ですが、相互協力委員会ではこれらの集計結果に基づき、他府県との比較など詳しい分析作業を行い、報告書の形にまとめる予定であります。さらに今年度は、この作業が終り次第、逐次刊行物所在（蔵）目録の改訂事業にとりかかる計画です。

「相互貸借帳票」の不足している館がありましたら、事務局へご一報ください。すぐに送付いたします。

□ 広報委員会が発足して二年目を迎えたましたが、今回、担当メンバーに一部変更がありましたのでご紹介します。新藤田周子（京都府立）、旧井田茂子（同）です。各地域連絡協力員の方々には引続いて担当していただきます。□ 本紙に関するご意見、ご感想はもとより、職場の情報や図書館資料の紹介等どしどしお寄せ下さい。□ 今後ともご支援のほどよろしくお願いします。

広報委員会だより

研修研究委員会

京都府下障害者サービス実態調査の中間報告

『調査に至る経過』 障害者サービス研究グループでは、昨年発足時に、まず初めに京都府下でのサービスの現状を把握し、その中から問題点を探りだし、今後の研究課題としたいと考えた。ところで、同年、大阪公共図書館協会が、大阪府下公共図書館にアンケート調査を実施しており、続いて日本図書館協会障害者サービス委員会・関西小委員会が同一項目で、近畿地区全体の調査を計画しており、当グループは、この調査の京都府下分を受け持つこととした。

『とりあえず調査を終えての感想』 ①積極的に取り組んでいるのは、まだ一部の図書館のみであり、特に、障害者サービスを特別なサービスと捉えているかのような回答が数件あり残念であった。②各自治体での障害者手帳所持者数及び図書館の利用登録者数から、潜在利用者は必ずいるはずであり、要望がない、利用が見込めない等の理由でサービスを行っていないのはおかしい。③多くの図書館から、職員不足・予算不足の悩みが寄せられたが、現状の下で、ちいさな図書館でもできることを探って行く必要性を痛感した。ここに「大阪の障害者サービス1986」の総評からの一文を引用する。「人がいなくても、お金がなくても、障害者への図書館サービスは不可能ではないことを、また図書館として障害者に何等のサービスもしないということは、障害者に対する人権侵害にもあたることを図書館員は肝に銘じておく必要がある」④町立図書館での取り組みで注目されるのは田辺町で、障害者サービスの担当職員をおき、宅配やBMで老人施設に巡回するなどのサービスを行っている。八幡市民図書館での市販ミュージックテープ貸出し、ボランティアによる電話朗読サービスなどユニークな活動もみられる。

『さいごに』 この調査の詳細は、今年中に報告書を作成する予定なので、それをお待ちください。

全国・近畿地区研究集会日程

○ 全国図書館大会	十月二十八日～三十日	東京都
○ 整理部門全国集会	九月三十日～十月一日	岡山県
○ 奉仕部門全国集会	六十三年一月二十六日～二十七日	山梨県
○ 移動図書館部門全国集会	十二月三日～四日	高知県
○ 近公図奉仕部門研究集会	期日未定	大阪府
○ 近公図整理部門研究集会	期日未定	神戸市
○ 近公図参考事務研究集会	期日未定	滋賀県
○ 近公図児童奉仕研究集会	期日未定	兵庫県